

IMEDIATA 特別医療通訳講座2015

「患者満足度」の高い医療通訳をめざして

医療通訳者に求められるスキルは、高度な通訳技術？それとも、対人援助スキル？コーディネーター力なのか、様々なシンポジウムで議論されてきました。言葉や文化背景の違いを抱える患者にとって、心から満足できる通訳とはいったいどのような通訳なのかを皆さまと一緒に考えていく場にしたいと思います。

<日時> 2015年 1月 25日(日) 13:30~17:00【開場13:00~】 ※終了後にワンコイン懇親会(500円)します

<場所> りんくう総合医療センター 3階大会議室

大阪府泉佐野市りんくう往来北2-23 TEL:0724-69-3111(代表)

<参加費> 1000円 定員60名(申し込み先着順) ※申し込み締切 1月20日(火)まで

参加には事前申し込みが必要です。申し込みされる方は、下記IMEDIATA事務局メールアドレスまでご連絡ください。申し込みフォームをお送りいたします。

お問い合わせ メールアドレス: imediata-workshop@imediata.jp(新垣・廣中) FAX:072-469-7840

第1部 基調講演

「医療通訳者の役割」 講師: 渡部 富栄

会議通訳者 大東文化大学大学院/青山学院大学兼任講師

看護師として国立がんセンター(小児科病棟)に勤務する。1998年大東文化大学大学院経済学研究科博士前期過程(通訳論専攻)修了後、英日会議通訳者として、国際看護師協会を始めとした看護領域、また医療政策や医療経済学、医薬など、保健医療分野における数多くの国際会議に携わっている。通訳教育では通訳理論に基づく効果的なスキル指導を実践している。著書として『対人コミュニケーション入門 看護のパワーアップにつながる理論と技術』(ライフサポート社刊、2011年)、訳書にジュリア・バルザー・ライリー著『看護のコミュニケーション』(エルゼビア・ジャパン社刊、2007年)がある。また雑誌連載に「通訳ブースから見える世界」(インターナショナル・ナーシング・レビュー、日本看護協会出版会、2011~2012年)、「保健指導が変わる 実践対人コミュニケーションスキル」(産業看護、メディカ出版、2011~2013年)がある。医療通訳では、著書に『医療通訳』(共同執筆、日本医療教育財団、2014年)、講演に「医療通訳の質とは?」(第4回医療通訳を考える全国実践者会議医療通訳分科会、2013年)がある。

第2部 グループワーク

「患者満足度の高い医療通訳をめざして」 進行: 新垣 智子

りんくう総合医療センター 外来副看護師長 兼 国際診療科

患者にとって、満足度の高い通訳を目指すために個人のもつ「強み」と「弱み」をどのように補い合うべきかをグループ討議します。

主催: りんくう国際医療通訳翻訳協会IMEDIATA 共催: りんくう総合医療センター

後援: 大阪大学医学部附属病院国際医療センター、医療通訳士協議会(JAMI)、青年海外協力協会近畿支部

IMEDIATA 主催 特別医療通訳講座2015

患者満足度の高い医療通訳を目指して

お申込み FAX送信票

平成27年1月25日(日) 13:30~17:00 (開場13:00)

りんくう総合医療センター 3階 大会議室

*以下の欄をご記入の上、下記までFAXでお申し込みください。

平成27年1月20日(火) 締め切り

IMEDIATA事務局 FAX:072-469-7840

お名前	ご所属(役職)	職業	連絡先	懇親会参加
				する・しない
				する・しない
				する・しない

※複数名でのご応募の方は、すべての方のお名前・ご所属を明記お願いします。

このお知らせは何で知りましたか？

- インターネット(どのWEBサイトですか))
- 友人、知人
- 大学、所属先
- 広報チラシ
- 研究会やサークルなどのお知らせメール(具体的に))
- その他(具体的に))